

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0857
 住 所 神奈川県川崎市川崎区白石町6番1号
 氏 名 株式会社デイリートップ東日本 印
 代表取締役社長 鳥越 淳司
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	(株) デイリートップ東日本		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区白石町6番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	豆腐・油揚げ製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	905	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	生産課
		所在地	神奈川県川崎市川崎区白石町6番1号
		電話番号	044-366-7461
		FAX番号	044-329-1243
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	22年度 ~ 24年度 (報告年度 24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,393 t-CO ₂ (調) 3,190	(実) 3,088 t-CO ₂ (調) 2,898	(実) 3,082 t-CO ₂ (調) 2,899	(実) 1,766 t-CO ₂ (調) 1,633	(実) 3,183 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) 9.0 % (調) 9.2	(実) 9.2 % (調) 9.1	(実) 48.0 % (調) 48.8	(実) 6.2 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0	0		
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	予測製造の精度向上により、蒸気の使用量が削減できた為、排出量は、9%削減しました。
第2年度	事務所等の使わない電気の入切を小まめに行う習慣づけと、冷蔵庫前室の出荷口の開け放しが特に電気を要していた等のこまめな管理で、電気は3%の削減となった。
第3年度	機械の老朽化で省エネに限界があったので、生産機械(省エネタイプ)に入替え、更に熱効率の悪い即ち生産効率が悪い工程を廃止した。更には、生産管理方法も親会社の管理方法を導入した結果、蒸気で51%削減、電気では35%の削減となり、温室効果ガスは48%削減できた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	省エネ推進委員会の活動により、全従業員への省エネ意識の注意喚起、生産予測の精度の向上などの対策を実施する。
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の製造量予測の精度を上げる ●日々の朝礼時に於ける、全従業員に対する省エネ意識の注意・喚起 ●生産終了後の管理者による場内点検巡回（目視による漏れ及び異音の確認） ●冷暖房設備のON・OFF時間及び温度設定の随時見直し ●省エネ掲示板を設け、対策目標の掲示
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ●朝礼での従業員に対する省エネ意識（コスト意識）の徹底 ●冷蔵庫前室の扉の開け放しが電気を要していた ●蒸気の漏れや、エアアの漏れは早期に修繕した ●生産機械の老朽化によりエネルギーの削減は限界にあるので、機械の入替えと省エネ生産工程の検討に入る
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ●豆腐ラインは2倍の生産能力でありながら省エネタイプに切替えた ●充填豆腐ラインは4倍に増強であり且つ省エネタイプに切替えた ●油揚ラインは生産効率・熱効率共に悪いので廃止した ●生産管理方法も親会社と同じ方法にして効率が良くなった
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	1,836	t-CO ₂
(調)	1,835	

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場	川崎市川崎区白石町6-1	0993	豆腐・油揚製造業	1,836 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--